

いきいき介護 VOL.74

発行／2022年5月13日

発行者／広島中央保健生活協同組合 介護事業部



2022年度
第1回

～法人ケアマネ学習会～

今年度最初の法人ケアマネ学習会は「介護保障を求めるひろしまの会」の代表幹事である大畠順一氏に「ケアマネジャーの役割を考える」～ケアプラン有料化の問題点から考察～という題で講演をしていただきました。

「介護保障を求めるひろしまの会」が行ってきたこれまでのソーシャルアクションの数々、社会福祉の担い手としてのソーシャルアクションの必要性という言葉には大畠氏がこれまでされてきた活動を考えた時にしっかりと頭に入ってきました。

介護保険制度創設から21年が過ぎ利用者をはじめ施設、サービス事業所、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターをめぐる環境は大きく変わってきました。そして今後ますます変化の波は大きくなるように思われます。

この中の一つが「ケアプランの有料化」だと思います。ケアマネは介護保険を利用するにあたっての最初の相談窓口。そこに費用負担が発生すると介護保険の利用そのものを抑制する恐れがある。その考え方は「介護保険の良心」と言われているそうです。全くその通りだと思われませんがその良心がなくなろうとしています。2024年の介護保険の改正に向け、国はケアプランの有料化を進めようとしています。そこで頭に思い浮かべるのは、先日介護事業部の学習会であった「流れに沿いながらも流されない主体的な取り組み(行動)が必要」という言葉です。制度に寄り添いながらも制度に流されない援助や支援がもっとこれから求められるのだと改めて感じました。

文責：広島中央保健生協居宅介護支援事業所
岡田 裕介



介護事業部のSNSはこちら <広島中央保健生活協同組合 介護事業部>



Facebook



Instagram

